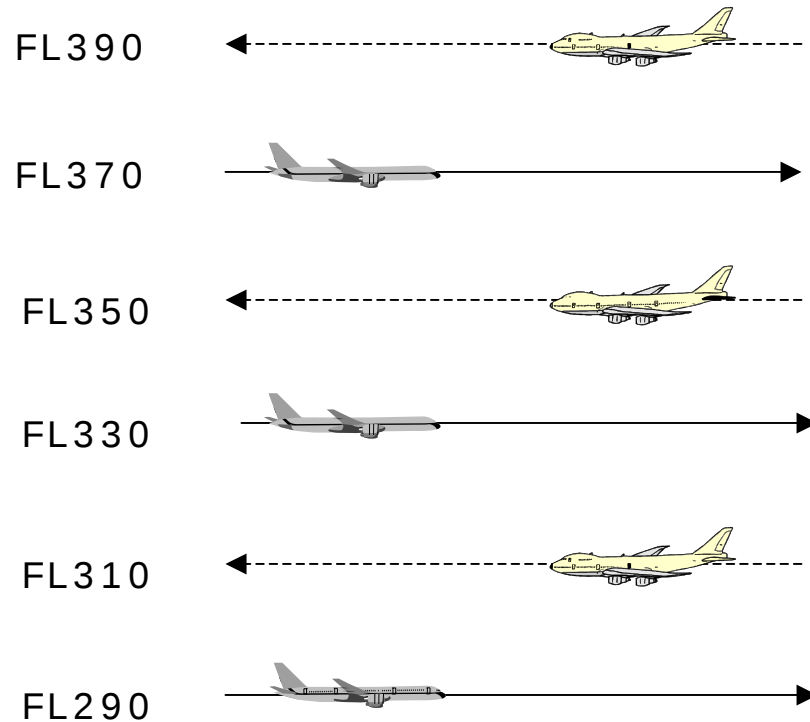


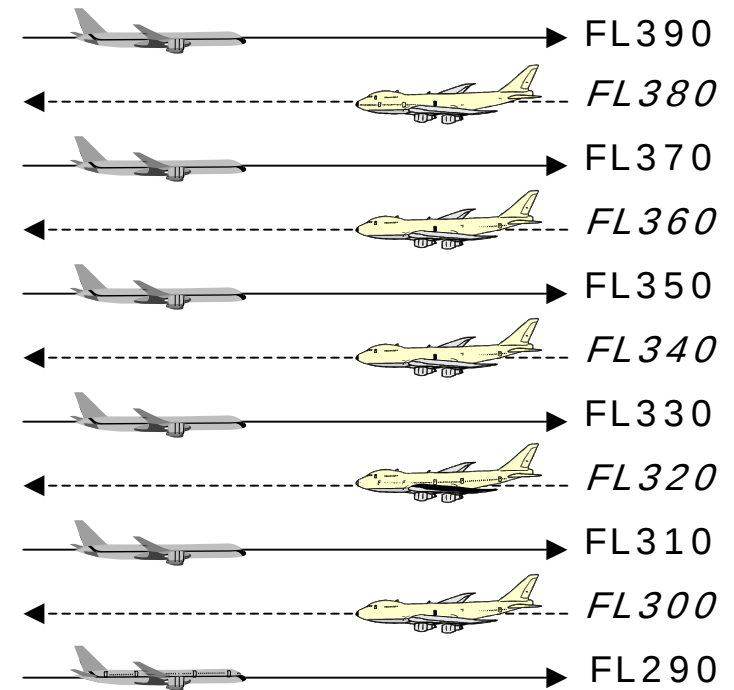
12. RVSM

RVSM (Reduced Vertical Separation Minimum : 短縮垂直間隔) とは、フライトレベル290 (29,000フィート) 以上の高度帯においても1,000フィートの垂直間隔を適用する方式である。

従来の高度

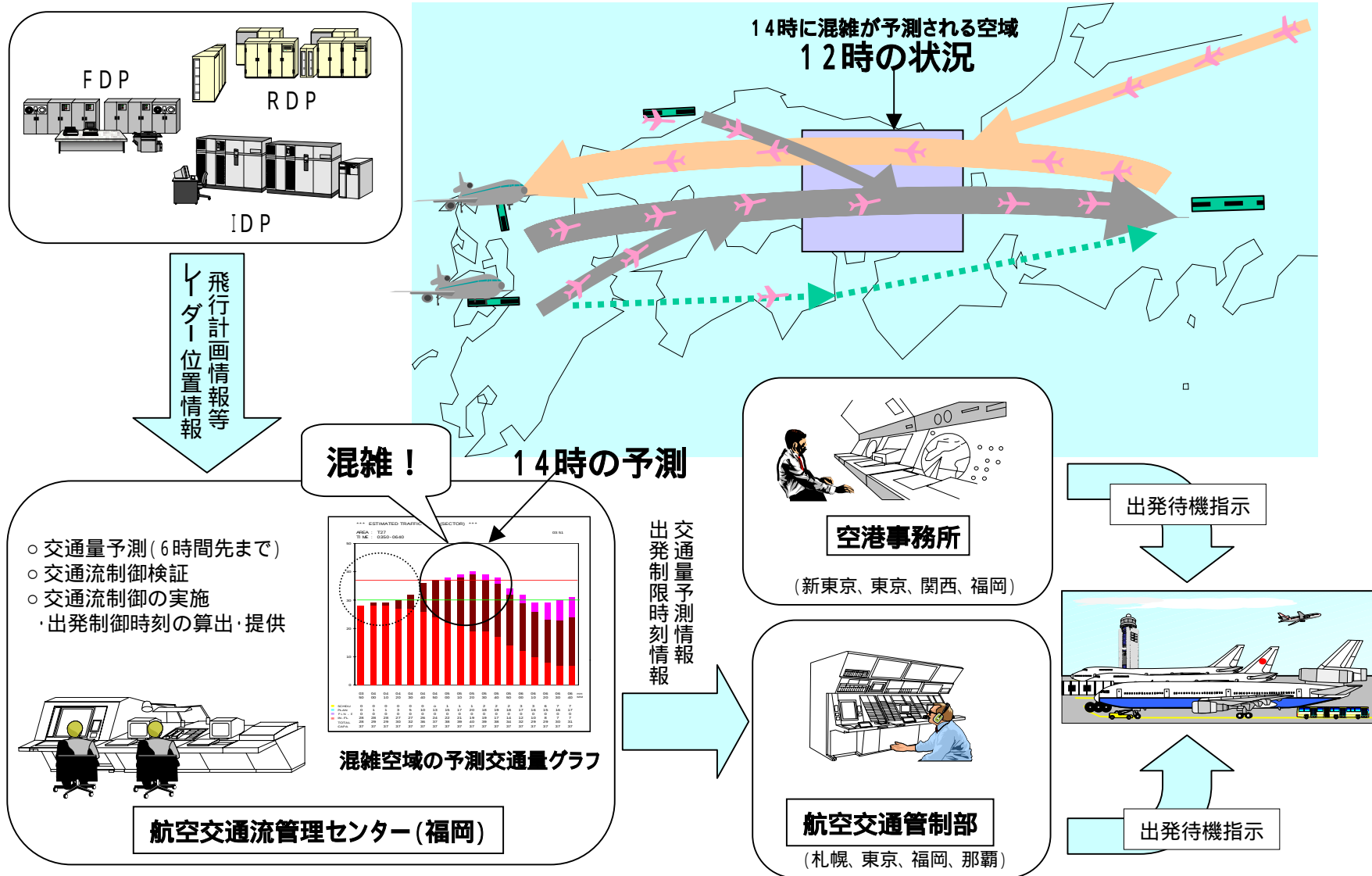


基本的なRVSM高度



13. ATFM

ATFM (Air Traffic Flow Management system : 航空交通流管理システム)は、福岡の航空交通流管理センターに設置され、特定の航空路や空港に航空機が過度に集中するのを未然に防止するため、RDPからのレーダー情報、FDPからの飛行計画情報及びIDPからの航空情報等に基づき、適正な航空交通量の予測を行うシステムである。

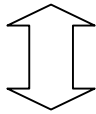


14. ASM

ASM(Air Space Management : 空域管理)は、防衛庁、米軍等の訓練・試験空域の一元管理を行うとともに、効率的な空域構成(可変セクター)及び調整経路の設計及び使用調整を実施して空域の有効利用を図る。

空域使用調整

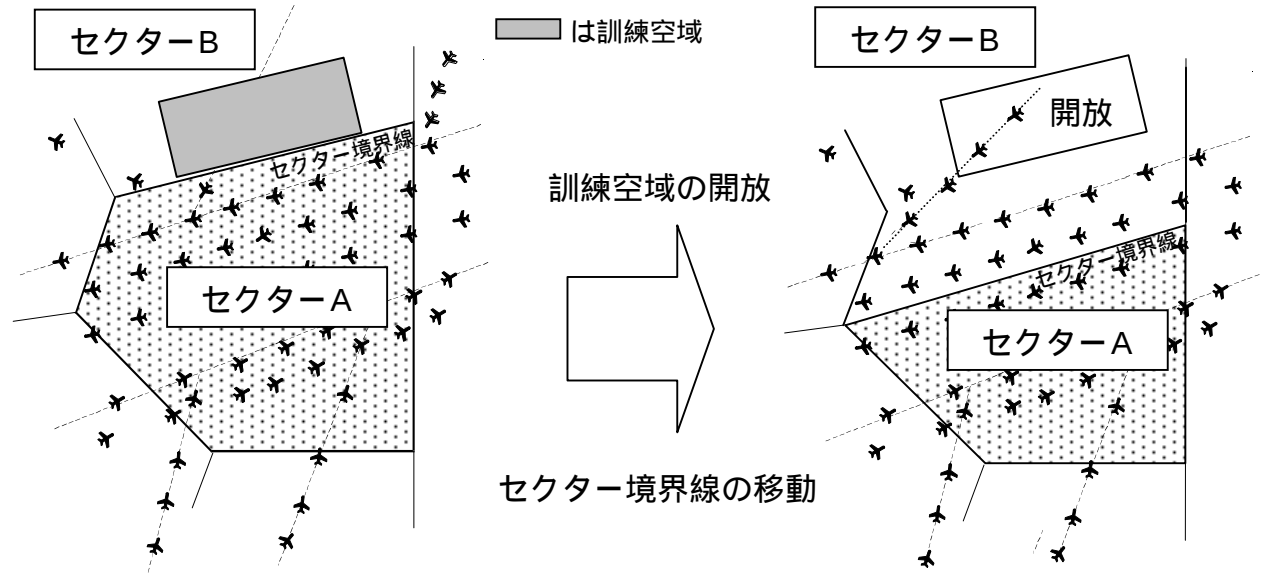
- 民間訓練 / 試験空域の使用計画調整
- 民間訓練 / 試験空域の使用状況の管理
- 自衛隊 / 米軍訓練空域の使用計画調整
- 自衛隊 / 米軍訓練空域の使用状況の管理



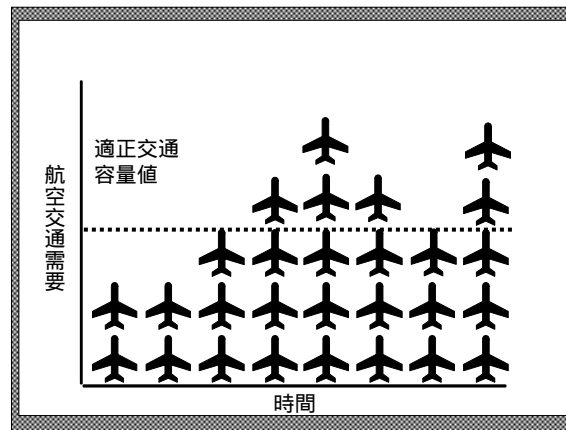
ASM(空域管理)

空域構成選定

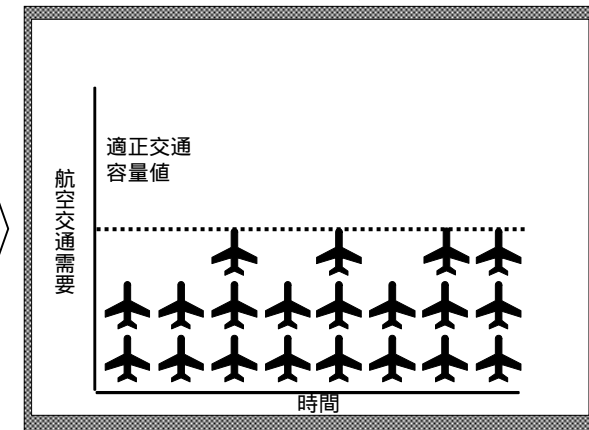
- 空域構成計画の策定
- 空域構成(セクタ構成)の調整



セクターAの交通量



セクターAの交通量

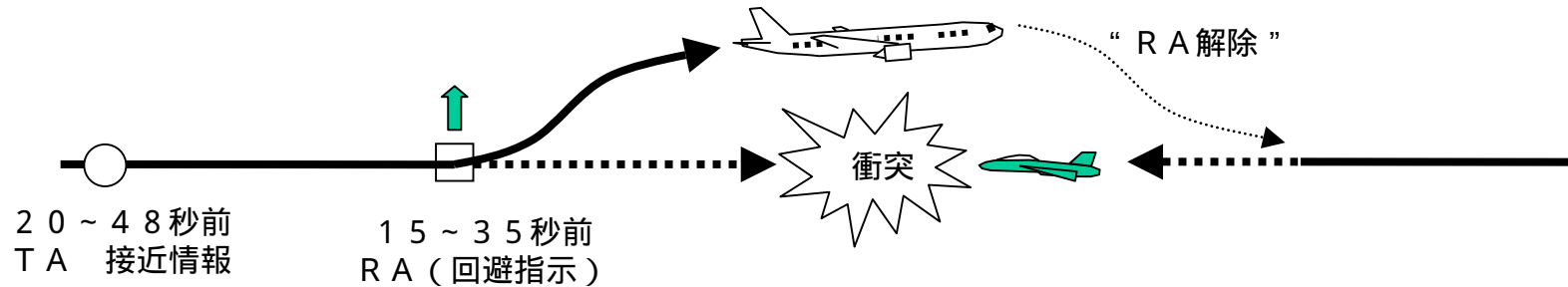


15. TCAS

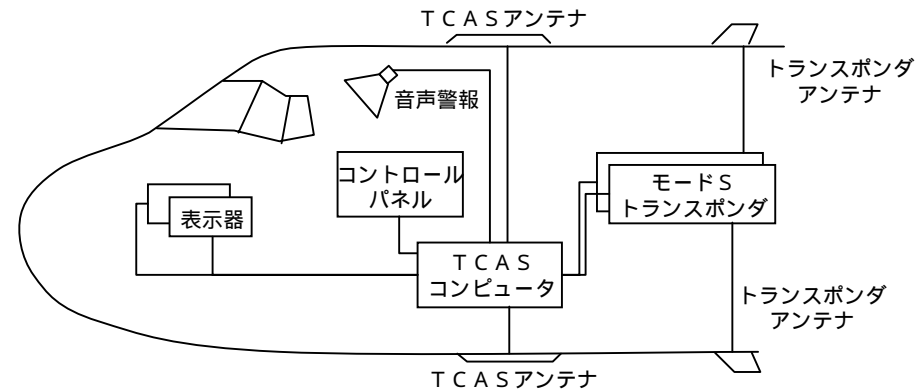
航空機衝突防止装置（TCAS：Traffic Alert and Collision Avoidance System）は、近接する他の航空機がもつトランスポンダに質問信号を送信し、その応答信号を受信して、空中衝突の恐れのある航空機との衝突回避に必要な垂直方向の回避指示を航空機乗組員に提示し、空中衝突を未然に防止するための機上装置である。

TCAS警報には、接近する可能性のある周辺機について表示する接近情報（TA：Traffic Advisory）と、この周辺機が衝突する可能性が高くなった場合に回避指示をする回避指示（RA：Resolution Advisory）と呼ばれる2種類の形態がある。

衝突やニアミスが予測されると相手機の高度、方位及び上昇・下降などの情報がディスプレイ装置に表示される他に「トラフィック、トラフィック」（周辺機の存在を知らせる）、「ディセント ディセント」（降下指示）、「クライム クライム」（上昇指示）などの指示が音声によってもアナウンスされる。



TCAS表示装置



TCASの構成